

山梨県林内路網整備計画の変更について

1 計画変更の趣旨

○ 新たな「森林整備・林業成長産業化推進プラン（仮称）」の策定

本県の森林・林業・木材産業の新たな指針となる新プランに沿った個別実施計画を策定

○ 県産材需給の動向

人工林の成熟と県産材需要の高まりなど、時代ニーズに即した計画内容への修正

2 現計画中の森林・林業の情勢

○ 森林資源の充実

県内の森林蓄積量は年々増加し、人工林では1980年との比較で約4.3倍と充実

○ 大型合板工場の稼働など、県産材需要の高まり

本年5月に稼働した身延町内の大型合板工場は、年間6万m³の県産材使用を計画

3 現計画の進捗状況

○ 林内路網の整備状況

平成27年から30年の4年間に186kmを整備（計画96km（24km/年））

4 計画の柱

○ 林地の傾斜と作業システムに応じた路網配置

緩傾斜地から中傾斜地は、高性能林業機械等の車両系による伐採・搬出作業を想定、急傾斜地は、索道による架線系作業を想定し、林道（トラック等の大型車両が走行）と森林作業道（主として林業機械が走行）をそれぞれの役割に応じて適切に配置

○ 木材を供給する区域に路網を集中的に整備

人工林資源が充実した区域を「生産基盤強化区域」に設定し、木材の搬出等を集中的に実施するため路網を重点的に整備

○ 市町村営林道の整備促進

新たな森林管理システムにより、市町村が経営管理する森林の適切な施業に必要な市町村営林道を効果的に配置

4-1 林地の傾斜と作業システムに応じた路網配置

<計画の考え方>

- 傾斜等の自然条件や人工林資源の充実等地域の特性に応じて、林道、林業専用道、森林作業道をバランスよく配置
- 緩・中傾斜は車両系、急傾斜・急峻地は架線系を主体とした作業システムに必要な路網を計画

人工林における林地傾斜・作業システムに対応した路網整備の目標

傾斜区分	作業システム	路網密度 (m/ha)			
		林道 (公道含む)	林業専用道	森林作業道	計
緩傾斜 (0~15°)	車両系	15	20	65	100
中傾斜 (15~30°)	車両系	15	10	50	75
	架線系	15	10	0	25
急傾斜 (30~35°)	車両系	15	0	45	60
	架線系	15	0	0	15
急峻地 (35°以上)	架線系	5	—	—	5

(出展：地域森林計画)

林内路網の種類



作業システムと使用機械の例

傾斜区分	作業システム	林業機械			
		伐採	集材	枝払・玉切	運搬
緩傾斜	車両系	ハーベスタ	グラップル	ハーベスタ (プロセッサ)	フォワーダ トラック
中傾斜	車両系	ハーベスタ チェーンソー	グラップル ウインチ	ハーベスタ (プロセッサ)	フォワーダ トラック
	架線系	チェーンソー	スイングヤーダ タワーヤーダ	プロセッサ	フォワーダ トラック
急傾斜	車両系	チェーンソー	グラップル ウインチ	プロセッサ	フォワーダ トラック
	架線系	チェーンソー	スイングヤーダ タワーヤーダ	プロセッサ	フォワーダ トラック
急峻地	架線系	チェーンソー	タワーヤーダ	プロセッサ	トラック

(出展：林野庁資料)

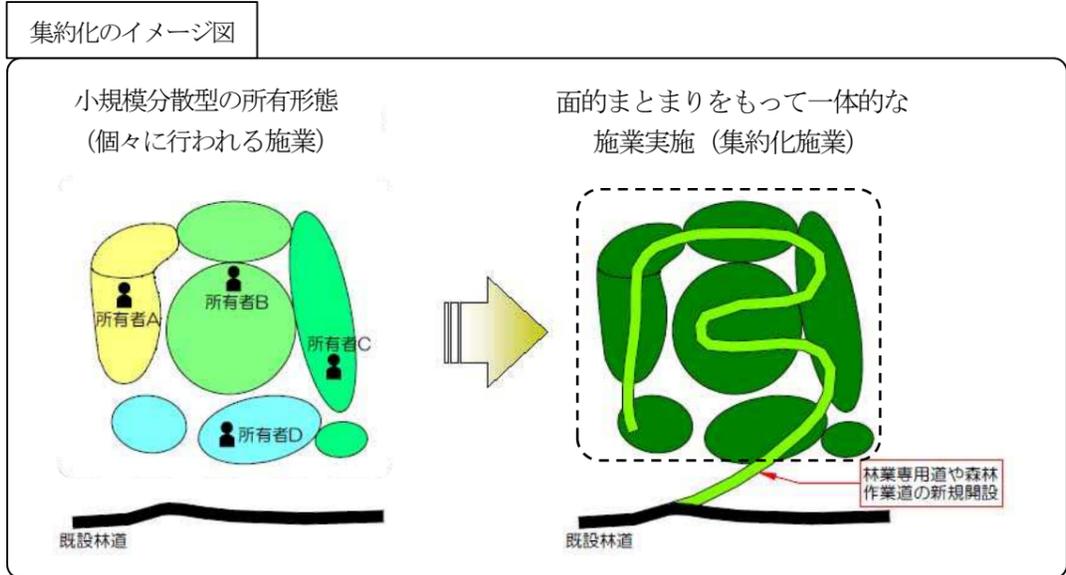
【 高性能林業機械等の種類 】

伐採・枝払・玉切「ハーベスタ」	枝払・玉切「プロセッサ」	運搬「フォワーダ」
		
伐倒、枝払、玉切と集材までの各作業を一貫して行う自走式機械	全木集材された材の枝払、玉切を連続して行う自走式機械	玉切した材を荷台に積み運ぶ集材専用の自走式機械
集材「グラップル」	集材「スイングヤード」	集材「タワーヤード」
		
木材を掴んで集材する自走式機械	建設用機械に集材用ウインチを搭載した集材機	簡便に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機

4-3 市町村営林道の整備促進

<計画の考え方>

- ・ 民有林の所有構造が小規模・分散型であるため、隣接する複数の森林を取りまとめ
- ・ 素材生産や森林施業の効率化に向け、高性能林業機械の導入を考慮した路網を合理的に配置



4-2 木材を供給する区域に路網を集中的に整備

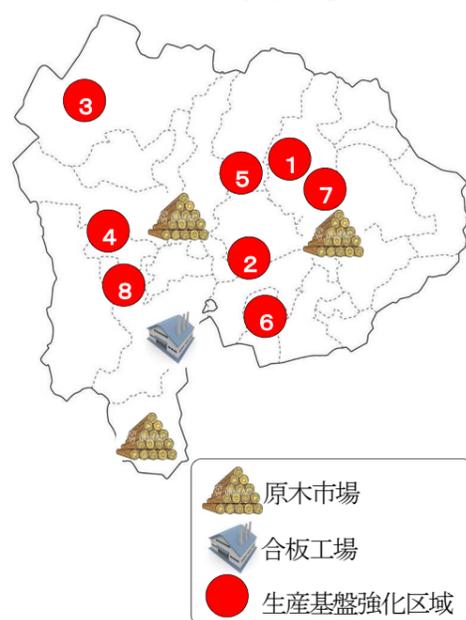
<計画の考え方>

- ・ 県内のバランスを考慮した上で候補地を選定し、短時間で整備可能な規模の路線を計画
- ・ 毎年度完成した区間から伐採、搬出等が実施できるよう森林作業道を配置

現在の生産基盤強化区域

	区域名	市町村	面積(ha)	林道名、延長
1	鈴庫山	甲州市	105	鈴庫山1号支線 L=2,000m
2	一之倉	笛吹市	173	
3	井富	北杜市	155	井富2号線 L=2,800m
4	小室	富士川町	107	赤石高下1号支線 L=2,000m
5	万力	山梨市	218	
6	大田和	鳴沢村	436	
7	牛奥	甲州市	113	嵯峨塩深沢1号支線 L=2,558m
8	八町山	富士川町	126	赤石高下支線1号支線 L=4,309m
	8地区		1,433	L=13,667m

「県内位置図」



5 整備目標

○ 3つの柱を踏まえ、新プランで掲げる「木材生産量335千 m^3 (R11目標値)」の達成と、伐採後の再生林や保育作業に必要な路網延長を検討

★R2からR11までの10年間で450Kmの路網整備を行う計画

<推進プラン目標値>

(H30) 4,598Km → (R11) 5,093Km

	各年度の割り振り										単位 (km)	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	10年計
林道	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
森林作業道	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	350
合計	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	450

推進プランの計画期間

※ 11年間では+495Km